

統計モデルとその有効性
Statistical Models and Their Efficiencies
RIMS 共同研究（グループ型 A）報告集

2025 年 3 月 10 日～ 3 月 12 日

研究代表者 小池 健一 (Ken-ichi Koike)

研究代表者 橋本 真太郎 (Shintaro Hashimoto)

目次

1. Aitchison 幾何に基づく分割表の対称性について
中村 慶太 (Keita Nakamura) 東京理科大学 (Tokyo U. of Science)
中川 智之 (Tomoyuki Nakagawa) 明星大学 (Meisei U.)
田畑 耕治 (Kouji Tahata) 東京理科大学 (Tokyo U. of Science)
2. 需要関数の推定は思いのほか難しい
金澤 雄一郎 (Yuichiro Kanazawa) 神奈川大学 (Kanagawa U.) /
国際基督教大学 (International Christian U.) /
奈良先端科学技術大学院大学 (NAIST)
3. KL ダイバージェンスを用いた δ 概十分統計量の特徴づけ
山口 夏穂里 (Kaori Yamaguchi) 立命館大学 (Ritsumeikan U.)
4. 多項式カーネルを用いたカーネル k-means の高次元漸近的性質について
江頭 健斗 (Kento Egashira) 東京理科大学 (Tokyo U. of Science)
矢田 和善 (Kazuyoshi Yata) 筑波大学 (U. Tsukuba)
青嶋 誠 (Makoto Aoshima) 筑波大学 (U. Tsukuba)
5. 高次元相互共分散ベクトルの自動スパース推定
海野 哲也 (Tetsuya Umino) 筑波大学 (U. Tsukuba)
矢田 和善 (Kazuyoshi Yata) 筑波大学 (U. Tsukuba)
青嶋 誠 (Makoto Aoshima) 筑波大学 (U. Tsukuba)
6. 楕円状の等高線を持つ球面上の確率密度関数について
宮田 庸一 (Yoichi Miyata) 高崎経済大学 (Takasaki City U. of Economics)

7. Large deviation efficiency of the maximum likelihood estimator for the Cauchy distribution
赤平 昌文 (Masafumi Akahira) 筑波大学 (U. Tsukuba)
8. 有界な台をもつ尺度モデルでの Rényi divergence の漸近展開.....
小池 健一 (Ken-ichi Koike) 日本大学 (Nihon U.)